

特別編成授業 実施中

センター試験、私大入試等の受験者を中心とする特編授業が11月30日から始まっています。志望校合格を目指して、受験勉強のラストスパートをかけています。この特編授業のクラスはたいへん熱気があり、全員が志望校に合格できると確信が持てる雰囲気です。この雰囲気を維持しながら、最後まで頑張り通してほしいと思います。

最近のトピックス

▼学習活動がコンテストで入賞しました

地歴科の学校設定科目「地域研究」の学習作品が表彰されました。

学習活動1 益田川流域の民話を調査し、レポート作品を制作

受賞内容：第11回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

表彰内容：**地域民話研究部門 最優秀賞**

主催：國學院大学・高校生新聞社

学習活動2 アジメドジョウの調査作品の制作

受賞内容：平成27年度生涯学習視聴覚フォーラム

表彰内容：**岐阜県議会議長賞**

主催：岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会



久津八幡宮での聞き取り調査（6月8日）

ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。これからも地域に根ざした学習活動を進めていきます。なお、レポート作品は学校HPで公開しています。

▼ インターアクト 全国高校生英語ディベート大会に出場

10月31日に行われた県大会で準優勝し、12月19、20日に岐阜聖徳学園大学で行われた「第10回全国高校生英語ディベート大会 in 岐阜」に出場しました。2年連続8回目の快挙です。選手は足立優奈さん(2C)、今井里奈さん(2C)、熊崎麻紘さん(2C)、立石実希さん(2C)の4名で、1年生3名今井創太君(1B)、田口優依さん(1B)、今井ひかりさん(1D)の3名が司会、タイムキーパーなど試合の補助をしました。全国の強豪校を相手に予選4試合終了後全体で8位/66校、惜しくも5試合目に翔凛(千葉)に負けて、全体23位でしたが、今までにない好成績を残すことができました。日々の努力が実った結果だと思えます。



▲県大会準優勝表彰の様子

▼ 美術部 2015滋賀 びわこ総文出場

7月28日～8月1日に滋賀県大津市、野洲市で開催された第39回全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門に、本校3年の奥田恭平君と熊澤圭太郎君が出場し文化連盟賞を受賞しました。

作品は一昨年、関市で開催された「ぎふ・関全国子ども木の造形コンクール」で金賞を受賞した縦90cm、横79cm、高さ148cmの楠を使った共同作品です。萩原南中出身の奥田君は2年連続出場の快挙でした。



▲木彫作品
「アリアドネの糸」

▼左から熊澤君と奥田君



▼ 陸上競技部 東海高校駅伝競走大会 10位入賞

岐阜県高校駅伝で4位に入賞することができ、東海高校駅伝に出場しました。東海4県の代表24チームが参加して静岡県袋井市の静岡スタジアム(エコパ)を発着点とする7区間42.195kmで襷をつなぎました。1区19位の出遅れを全員で少しずつ取り戻して一時は7位まで順位を上げ、最後は粘り抜き10位入賞(岐阜県チームでは2番目)することができました。1年生の多いチームですので、これからに期待しています。

【出場選手】

1区(10km)	塚中 栄都君 (3年:萩原南中 卒)
2区(3km)	寺島 裕人君 (1年:久々野中 卒)
3区(8.1km)	田立 勇太君 (3年:小坂中 卒)
4区(8.1km)	殿地 琢朗君 (1年:清見中 卒)
5区(3km)	鍵谷 希君 (2年:中山中 卒)
6区(5km)	安田 響君 (1年:小坂中 卒)
7区(5km)	裁 聖七君 (1年:萩原南中 卒)

▼ 女子ソフトテニス 東海大会出場

12月20日に行われた岐阜県高校室内大会(個人戦)において、田中沙和さん(1年:萩原南中卒)、中田理奈子さん(2年:萩原南中卒)がベスト8に入ることができました。その結果、1月24日に愛知県豊橋市の総合体育館で開催される、第46回東海高校選抜大会(個人戦)に出場します。

出場するのは2名の生徒ですが、普段から高い目標を持ち、練習に取り組んだ部員全体の成果だと思います。今回の東海選抜大会の経験を来年度のインターハイ予選につなげていきます。



進路ニュース

▼ 特編授業 実施中

1月16日・17日に高山で実施された大学入試センター試験をはじめとして、大学入試も本格的に始まりました。

今年度はセンター試験対策クラス、私大・医療系専門学校クラスの2つのクラスに分かれて毎日7限目まで特別時間割で授業を行っています。これまで学習してきたことの復習を中心に、過去の入試問題の演習や解説などを通して受験に向けて実践的な学力を身につけるように生徒達は頑張っています。最長で3月末まで受験は続きますが、夢の実現に向かって頑張っていきます。



▼ 平成27年度 進路状況 (1月14日現在)

1 就職内定状況

求人数は700件を越し、昨年度と比較してほぼ倍増という状況です。就職希望者は全員就職先を決め、内定率は100%です。今年度の3年生就職希望者は、1月から9月初めまでの約9か月間、就職補習を毎週月曜日の放課後に行ってきました。地道な努力を続け、その成果が結果として現れたといっても過言ではありません。就職先は、大手の製造業から、地元のホテル、金融機関、介護施設まで様々です。特徴的な数字は、飛騨地区の宿泊・飲食の内定者数で、昨年度は6名であったのに対し今年度は13名です。特に、昨年度は男子0名であったのが今年度は6名となりました。飛騨地区への内定者は就職内定者72名中40名で56.3%となり、飛騨地区への内定者数は、ここ2年間は全体の55%を超えています。今年度6月に行った地元企業ガイダンスの影響でしょうか。この2月には2年生を対象とした地元企業見学会も予定しています。地元に残る人、また進学後にやがて地元に戻る人を合わせて7割となるのが、飛騨地区つまりは下呂市の活性化につながると考えています。

職種	事務		営業・販売		サービス						輸送・機械		生産工程		運搬清掃		その他		総計	
					宿泊・飲食		美容		介護											
男・女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
飛騨	4	5	0	4	6	7	0	0	0	2	0	0	4	2	3	0	3	0	20	20
県内	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	5	1
名古屋	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	0	1	0	8	2
中京	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	3	0	1	0	0	0	4	7
関東	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
関西他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	7	11	0	5	8	8	0	1	0	3	3	1	10	4	6	0	5	0	39	33

2 進学決定状況

この数字は、AO、推薦入試の合格者数の途中経過となります。国公立四大の合格者4名を筆頭に、全員が努力し進路を切り開くことができました。

国公立四大	私立四大	国公立短大	私立短大	国公立専門	私立専門	文部省管轄外	計
4	45	2	22	6	42	2	123

(のべ合格者数)

授業の様子

▼ 普通科授業紹介

1月13日(金)の普通科3年生の生物の授業にて、ニワトリの脳解剖実験を行いました。実際にニワトリの頭を解剖ばさみで切り開いて、各脳の大きさの比較と眼の観察を行いました。生徒たちは普段体験することのない解剖を通して、体の構造を理解するだけでなく、命について考える機会にもなりました。また、この実験は安全面だけでなく、体調面にも十分な配慮を行ったうえで実施しています。



▼ 消費者生活講座

12月3日(木)に3年生を対象にした消費生活者教育講座を実施しました。講師に岐阜県司法書士会高山支部 司法書士橋祐介様をお迎えし、マルチ商法・キャッチセールス・デート商法といった悪徳商法やネット詐欺の事例を紹介していただき、社会へ出たときに被害者にならないような消費生活者としての知識を学びました。



▼ 人権LHR

12月10日(木)6限は全校統一人権LHRを実施しました。今年度は、クラスごとに心がぼかぼかと温まるようなかるたを作りました。生徒一人一人に読み札と絵札を作ってもらい、グループで作った作品を見ながら交流をしました。多くの生徒は、かるた作りを通して、身の回りにある人の優しさに気づいたり、人によってさまざまな見方や考え方があることを改めて知ることができました。



みんなで作ったかるたをクラスに掲示し、かるた取りをすることで、さらに人権意識を高めていきたいと考えています。

▼ 救急救命講習

12月21日(月)北消防署での普通救命講習に総合学科健康福祉系列15名が受講しました。講習会では、消防署員指導の下、路上等にて倒れている人を発見した想定で、救命処置を一人ずつ実施しました。救命処置では人体モデルを使用した心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)とAEDの使用手順を行いました。また、止血法として三角巾を使用した止血の方法や結び方、骨折時の応急処置を教えてくださいました。講習中、真剣に取り組む姿や積極的に質問をする場面がみられ実りある講習会となりました。



▼ 名古屋税理士会、国税当局との連携授業(ビジネス会計科)

ビジネス会計科では高山税務署主催の租税教室に、生徒が講師となり、市内中学校で授業を実施するという全国的に例のない取組を行っています。その取組にあたり12月11日(金)に名古屋税理士会から租税教育推進部長 大川雅彰様、高山支部長 山下英一様他3名の税理士の方々、高山税務署から総務課長 長瀬真治様他1名の国税職員の方に講師としてお越しいただきました。講師の方々には、生徒の小グループに入っていたいただき、「税の公平」「租税制度」を中心に話し合いを行い、出てきた意見や内容に対してアドバイスをいただきました。これまでの取組で生じた疑問を税の専門家に直接質問でき、たいへん有意義な機会となりました。

また、本校のこの取り組みは、納税道義の高揚に顕著な功績があるとして、名古屋国税局長の納税表彰を受けました。

